



川上小学校だより

岡山県真庭市立川上小学校 校長 林 咲子 令和4年10月11日発行 No.13

「自分の命は自分で守る」

9月29日に、岡山県警本部学校警察連絡室の頓宮さんを講師に迎えて、5・6年生を対象に「薬物乱用防止・非行防止教室」を実施しました。犯罪に巻き込まれないことや、薬物の恐ろしさなどを詳しく教えていただきました。



また、10月7日には全校で、真庭警察署スクールサポーターの白飯さんと川上駐在所の藤井さんにご協力をいただき、不審者侵入対応避難訓練・安全な登下校についての学習を行いました。



とにかく逃げる



職員室（先生）に知らせる



不審者に会わない所を通過して避難する



不審者確保



「いかにのおすし」の確認



白飯さんと 藤井さん

不審者に「いつ」「どこで」「誰が」遭遇するかわかりません。また、児童や職員がどんな動きをしたらいいかを確認したり、覚悟をしたりしておくためにも、訓練は必要だと教えていただきました。

どちらの学習も、真剣に一生懸命聴くことができていたと、講師の方々からほめていただきました。犯罪に巻き込まれないことが一番ですが、もしもの時には自分の命を守る行動ができるように、訓練や学習を重ねていきたいと思います。





「聴く」とは、相手の伝えたいことを理解しようと、注意深く聴くことです。この聴き方がいいと思います。

と、話してくれた児童がいました。

大賛成です！ありがとうございます。全校に伝えていきます。



奥本さん（手前左）ら作家に教わりながら電動ろくろに挑戦する子どもたち

日本工芸会中国支部による出張講座が4日、真庭市森山上福田の川上小で開かれ、4年生12人が備前焼作りを体験し、郷土の伝統文化に理解を深めた。

陶芸部会の奥本丸味（副部長58）＝備前市伊部＝ら3人が講師をた。奥本さん（手前左）ら作家に教わりながら電動ろくろに挑戦する子どもたち

備前焼土ひねり挑戦

4真庭・川上小
年 生 コップや花入れ制作

務めた。児童は、千年の歴史や、制作に用いる粘土の作り方、登り窯の構造について説明を受けた後、電動ろくろを使っての土ひねりに挑戦。粘土に手を添え、「力まず優しく滑らすようにひき上げて」など助言を受け、コップ

（岡山市北区天神町）で開かれる「第69回日本伝統工芸展岡山展」（日本工芸会、山陽新聞社など主催）の関連行事。児童が手掛けた作品は期間中、同美術館で展示される。

11月1日には津山市田熊の広野小5、6年生を対象に七宝焼体験が行われる。（小谷章浩）

十月四日に、四年生が備前焼体験をしました。山陽新聞十月五日（水）に掲載されました。

陸上指導

毎年恒例、3～6年生が浅田先生から、「走る」運動の基礎を学びました。バランスよく身体を使うことが大切で、自分で自分の身体を支えたり、走る運動に必要な筋肉をほぐしたり、鍛えたりするやり方を教えていただきました。

5・6年生には15日（土）に真庭支部学童陸上記録会に参加する児童もいて、大変参考になりました。ありがとうございました。

